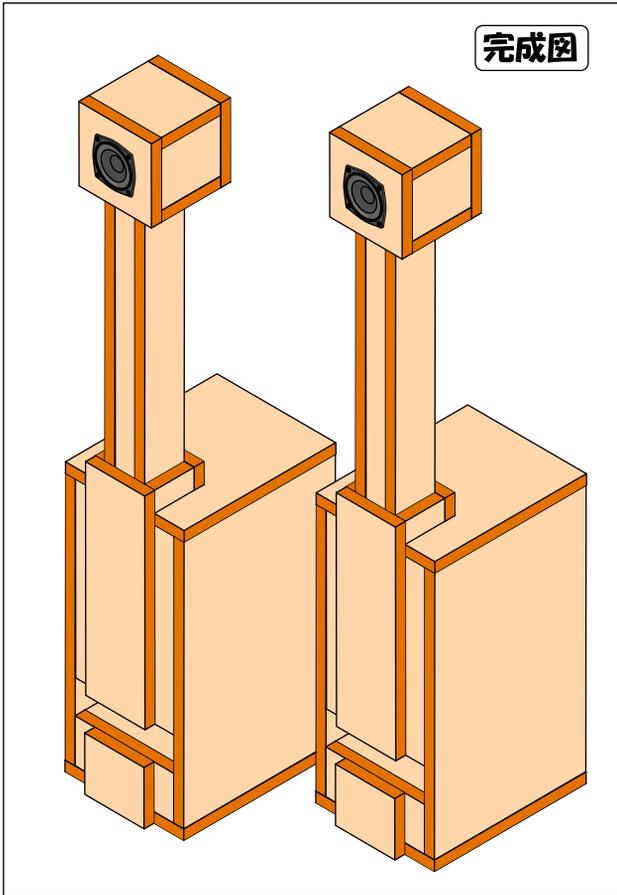


鳥形バックロードホーンキット 炭山アキラモデル「コサギ」(2本1組)



完成図

☆一般的なタイプと比較して場所をとらない鳥型(スワン型)バックロードホーンスピーカーの組み立てキットです

☆部材はカット済みですので手軽に組み立てられます

☆寸法

幅 : 180mm(18cm)

奥行 : 230mm(23cm) ※補強板含まず

高さ : 900mm(90cm)

☆適合スピーカーユニット :

パイオニア製 OMP-600(6cmフルレンジ)

組み立てに必要な工具等

(別途用意してください)

- ◎ 木工用ボンド
- ◎ 鉛筆と定規
- ◎ プラスドライバ
- ◎ スコヤ(直角を出すための定規)
- ◎ 重し
- ◎ ハタガネ (60cmくらいのものを2本以上)
- ◎ 濡れぞうきん
(はみ出したボンドをふき取るのに使用します。よく絞ってから使用してください)
- ◎ 砂袋(説明書16ページ参照)

本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良・性能向上のため予告なく仕様・外觀等を変更する場合がありますことをあらかじめご了承ください。
 ・本製品は組立キットです。製作作業中の安全確保のため説明書をよくお読みになり、正しい工具の使用・手順を守ってください。
 ・完成品でない商品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。完成後はお客様(組立業者)ご自身の責任のもとでご使用ください。
 ・本製品は機器への組込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っておりません。また本製品に起因する直接、間接の損害につきましては当社修理サポートの規定範囲を超えての補償には応じられません。

販売元:共立電子産業株式会社

共立プロダクツ事業所

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1 TEL 06-6644-4447 FAX 06-6644-4448

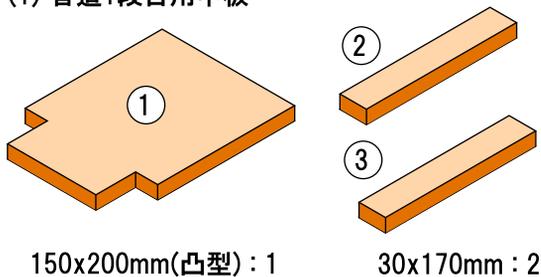
部品一覧(スピーカー1本分)

※キットには2本分の部材が入っています。

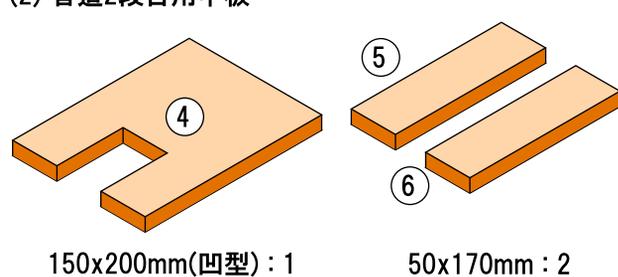
※板材は全て厚さ15mmのMDF材です。図の丸数字は部材にスタンプしてある部材番号です。

1. 胴体部分の部材

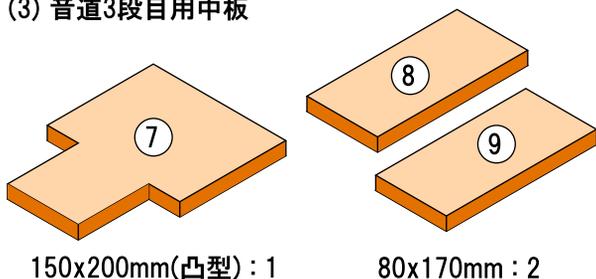
(1) 音道1段目用中板



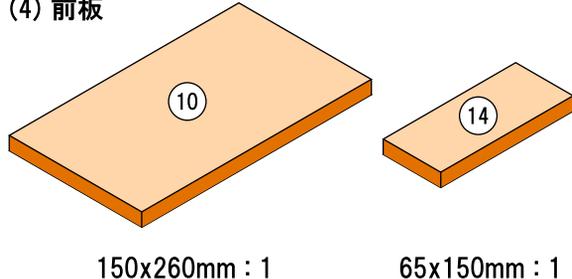
(2) 音道2段目用中板



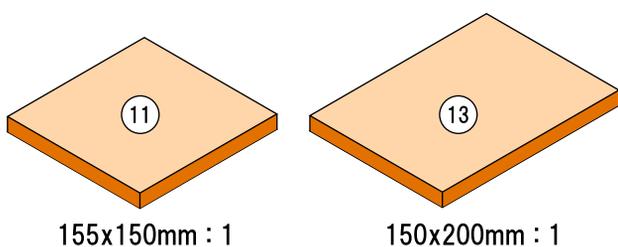
(3) 音道3段目用中板



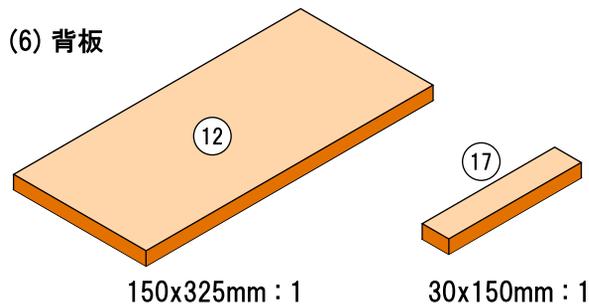
(4) 前板



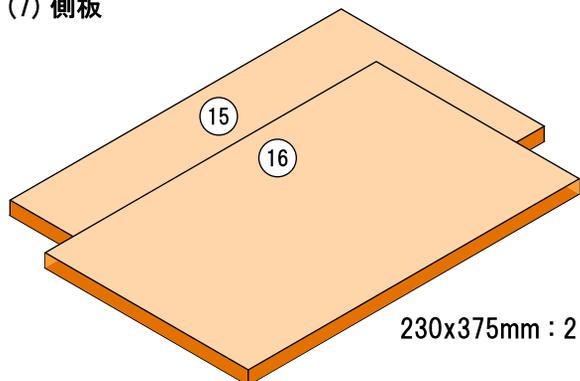
(5) 音道4/5段目用中板



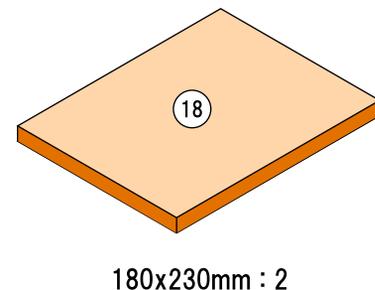
(6) 背板



(7) 側板

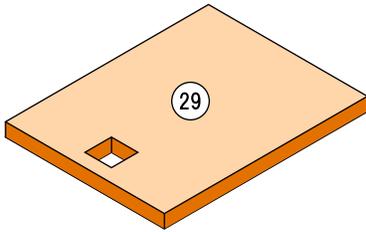


(8) 底板



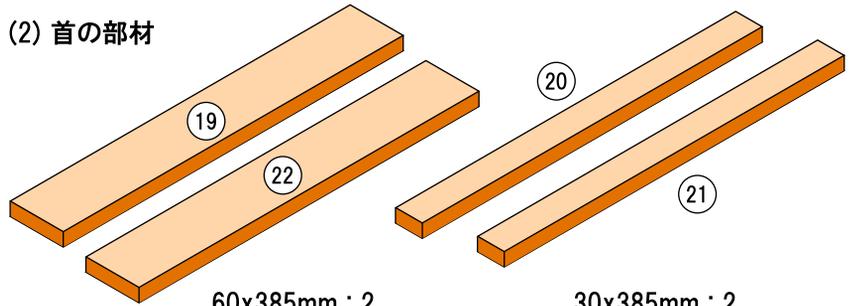
2. 首/頭部分の部材

(1) 天板



180x230mm : 1

(2) 首の部材



60x385mm : 2

30x385mm : 2

(3) 頭の部材



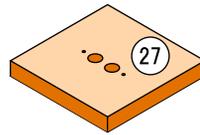
110x90mm : 1



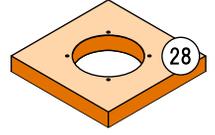
110x90mm : 1



80x90mm : 2

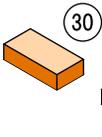


110x110mm : 1

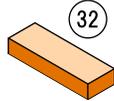
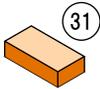


110x110mm : 1

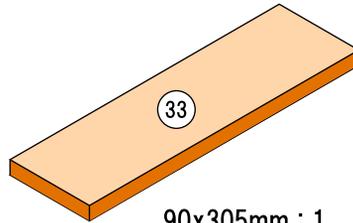
3. 補強材



60x30mm : 2



90x30mm : 1

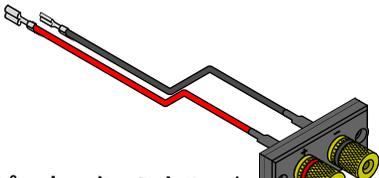


90x305mm : 1



90x80mm : 1

4. スピーカーターミナルと止めネジ



スピーカーターミナル : 1
※接続ケーブル加工済み



3x16mm タッピングネジ : 2
(スピーカーターミナル固定用)



スピーカーユニット OMP-600 : 1
スピーカーの止めネジ : 4
※ユニットに付属

部品表 ※予告なく変更することがあります

品名	板の番号	規格/寸法	数量	品名	板の番号	規格/寸法	数量
音道1段目中板1	(1)	150x200mm 凸型	1	首部側板	(19) (22)	60x385mm	2
音道1段目中板2	(2) (3)	30x170mm	2	首部前板/後板	(20) (21)	30x385mm	2
音道2段目中板1	(4)	150x200mm 凹型	1	頭部底板	(23)	110x90mm	1
音道2段目中板2	(5) (6)	50x170mm	2	頭部天板	(24)	110x90mm	1
音道3段目中板1	(7)	150x200mm 凸型	1	頭部側板	(25) (26)	80x90mm	2
音道3段目中板2	(8) (9)	80x170mm	2	頭部背板	(27)	110x110mm	1
前板1	(10)	150x260mm	1	スピーカーバッフル	(28)	110x110mm	1
前板2	(14)	65x150mm	1	首部補強板 左右	(30) (31)	60x30mm	2
音道4段目中板	(11)	155x150mm	1	首部補強板 後	(32)	90x30mm	1
音道5段目中板	(13)	150x200mm	1	胴体補強板1	(33)	90x305mm	1
背板1	(12)	150x325mm	1	胴体補強板2	(34)	90x80mm	1
背板2	(17)	30x150mm	1	スピーカーターミナル		ケーブル加工済	1
側板	(15) (16)	230x375mm	2	タッピングネジ		3x16mm	2
底板	(18)	180x230mm	1	スピーカーユニット		OMP-600	1
天板	(29)	180x230mm	1	スピーカー止めネジ		ユニットに付属	4

組み立て方

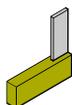
重要

◎ 組み立て前に構造と全体の組み立て工程を把握し、仮組みを十分行って部材同士の位置関係を把握してから組み立ててください。

◎ 胴体内部の音道部分の組み立て(部材番号①～⑨)は精度が重要な箇所です。1段目から3段目を接着して1つのユニットにする部分では、各段が前後左右にずれたり歪んだりしないよう注意して組み立ててください。**(ここでずれると後の組み立て工程に支障が出ます)**

接着時はハタガネなどでしっかり固定し、接着剤を十分乾燥させてください。

◎ ほかの部分もスコヤなどで直角を出して組み立ててください。

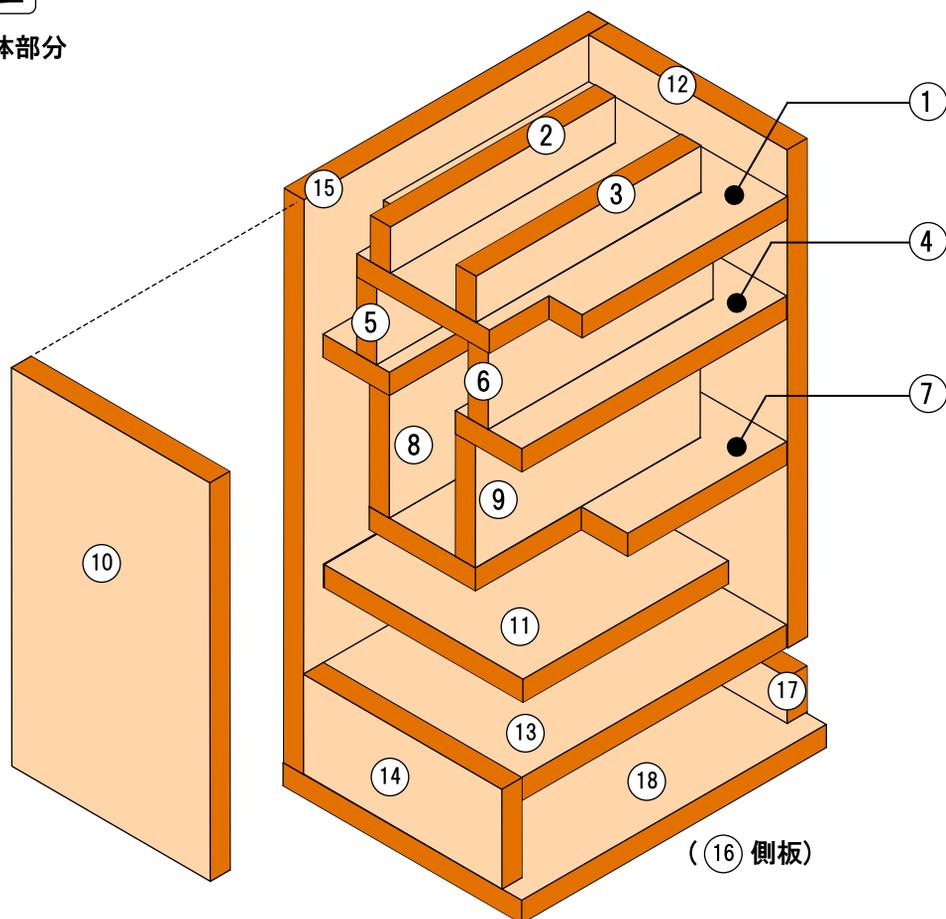


組み立て図に記入してある左の「ミニスコヤマーク」は、直角になっていることを確認すべき場所を意味しています。
(スコヤとは直角を確認するための定規です)

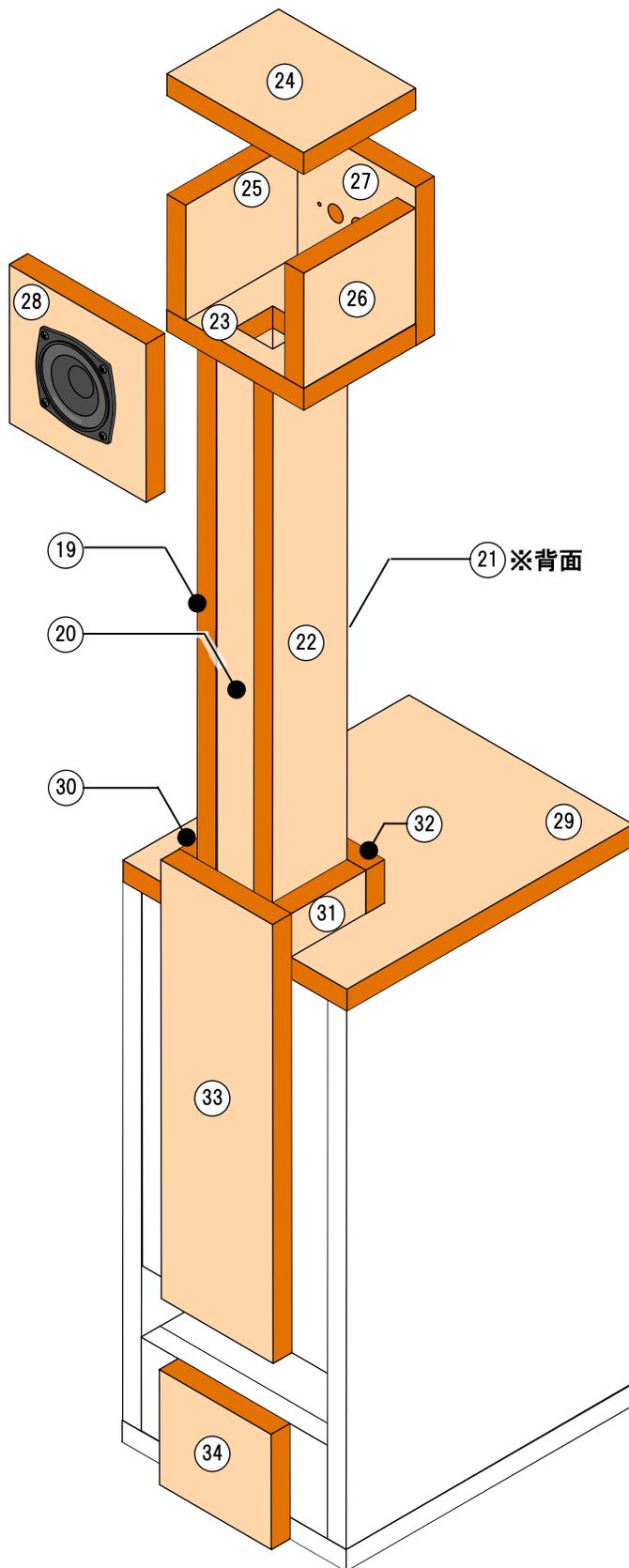
◎ 接着剤は接着面に均等に塗ってください。

構造図

(1) 胴体部分



(2) 首と頭の部分 (補強板を含む)

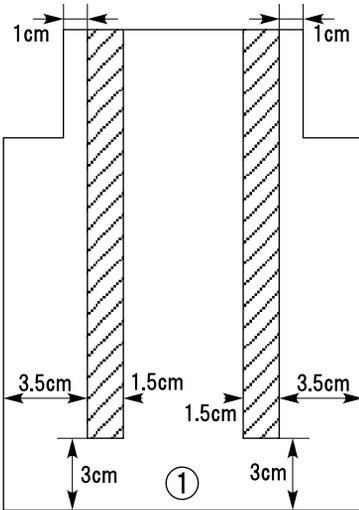


◎ 部材には部材の番号がスタンプしてあります。部材の番号を確認しながら組み立ててください。
組み立て図では部材の番号を丸数字で表しています。

◎ 図中ハッチング  が入っている部分は板を接着すべき場所の指定です。

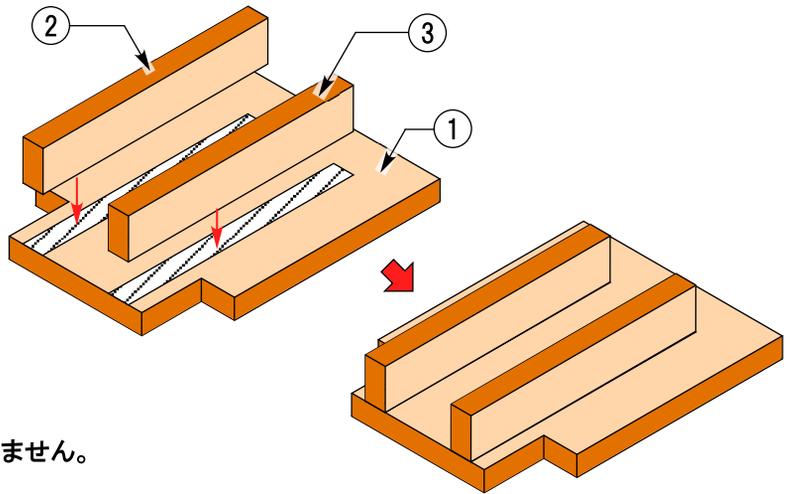
1. 胴体部分の組み立て

(1) 1段目の音道を作ります



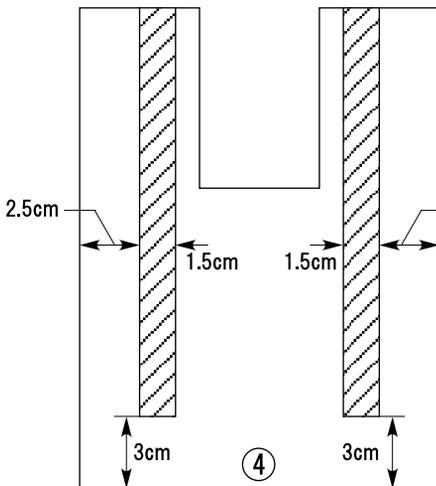
◎ 中板①に左図の寸法に従ってガイド線を引きます。

◎ 左図のハッチング  部に下図のように中板②と③を接着します。



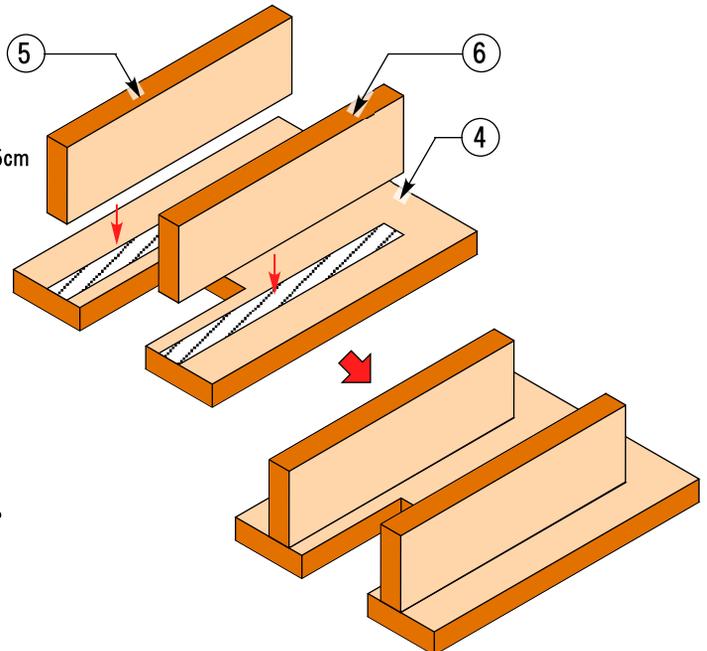
中板②と③には左右の区別はありません。
(同じ部材です)

(2) 2段目の音道を作ります



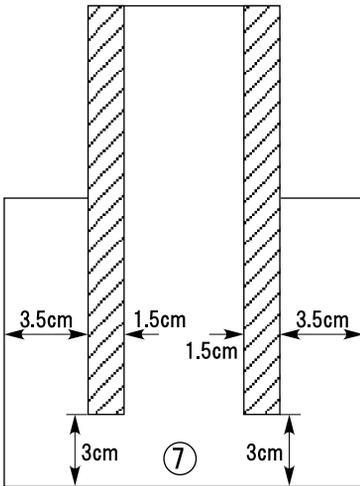
◎ 中板④に左図の寸法に従ってガイド線を引きます。

◎ 左図のハッチング  部に下図のように中板⑤と⑥を接着します。



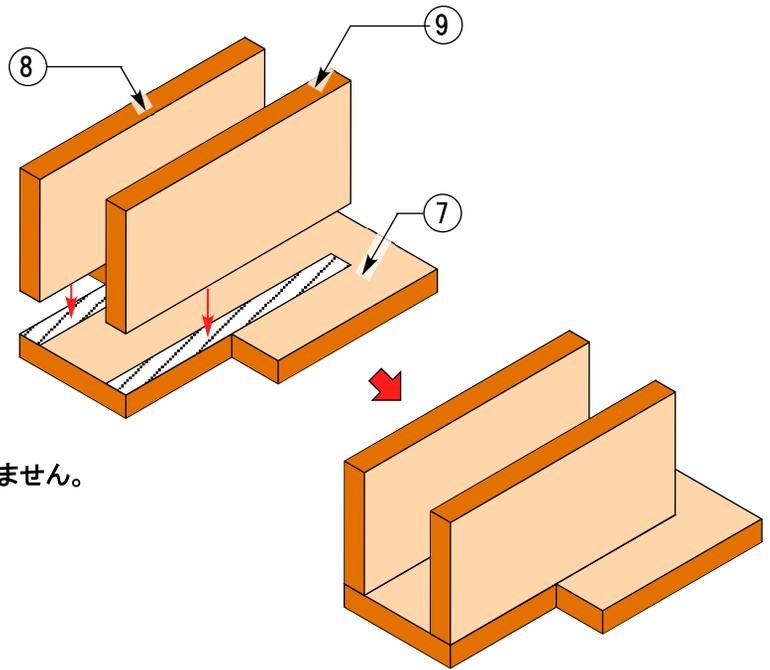
中板⑤と⑥には左右の区別はありません。
(同じ部材です)

(3) 3段目の音道を作ります



◎ 中板⑦に左図の寸法に従ってガイド線を引きます。

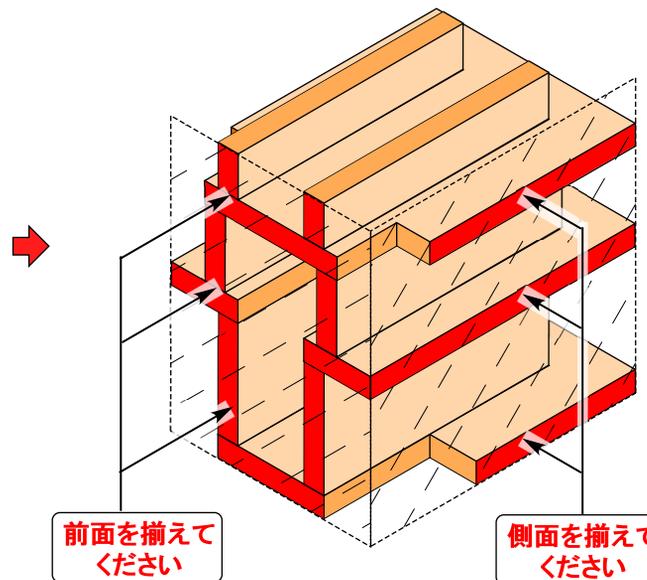
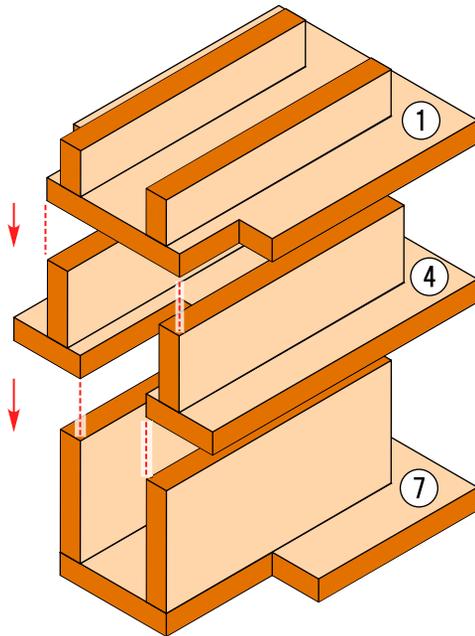
◎ 左図のハッチング部(斜線)に下図のように中板⑧と⑨を接着します。



中板⑧と⑨には左右の区別はありません。
(同じ部材です)

(4) (1)～(3)で組み立てた音道を接合します

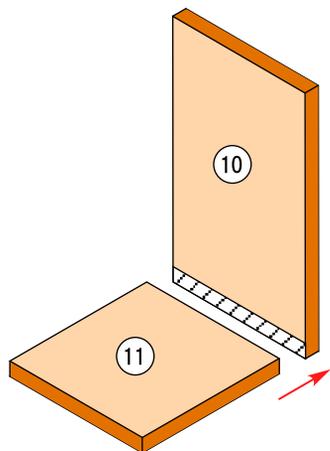
◎ (1)～(3)で組み立てた音道を下図のように重ね接着します。下図の赤で表示してある面が同一平面に来るように揃え、しっかり固定してください。
(あとの組み立て工程に支障が出ます)



ハタガネなどでしっかり固定して接着剤を十分乾燥させてください。

(5) 4段目の音道を作ります

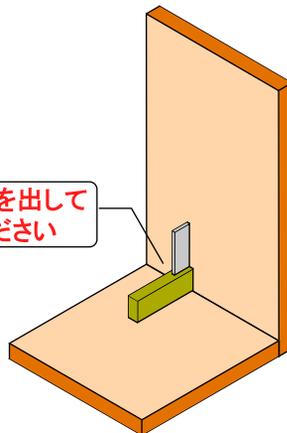
背面から見た状態



◎左図のように前板⑩に中板⑪を接着します。

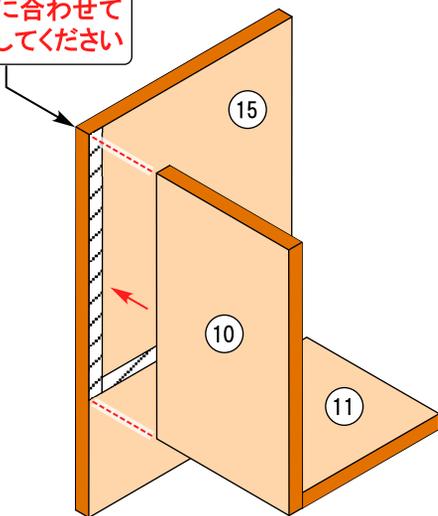
※前板⑩と中板⑪が直角になるように注意してください。

直角を出して
ください

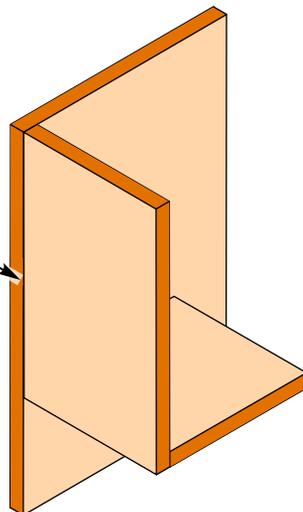


(6) 側板⑮に(5)で接着した前板⑩⑪を接着します

側板の前面と
天面に合わせて
接着してください

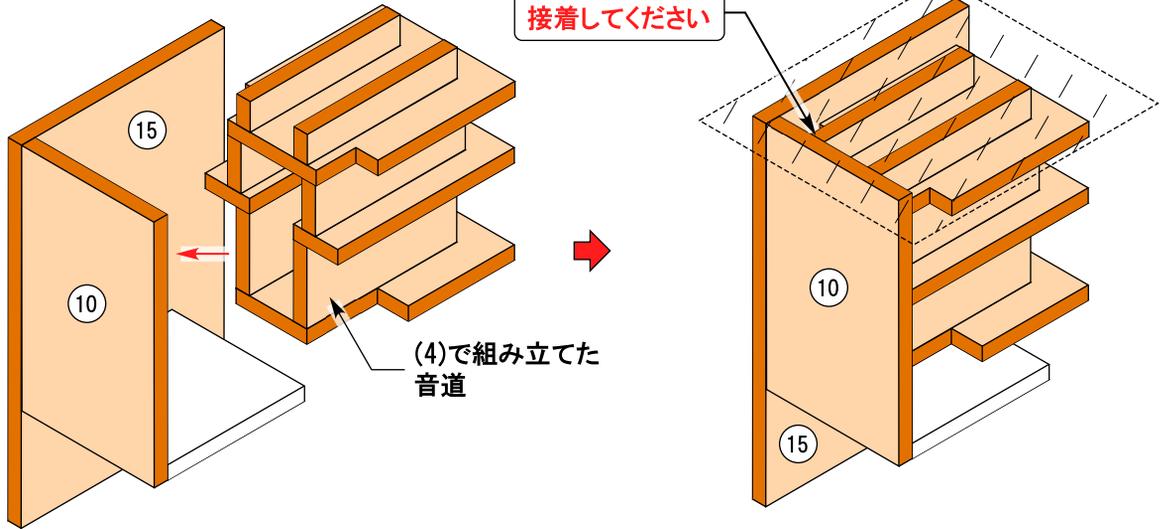


この面を
揃えます



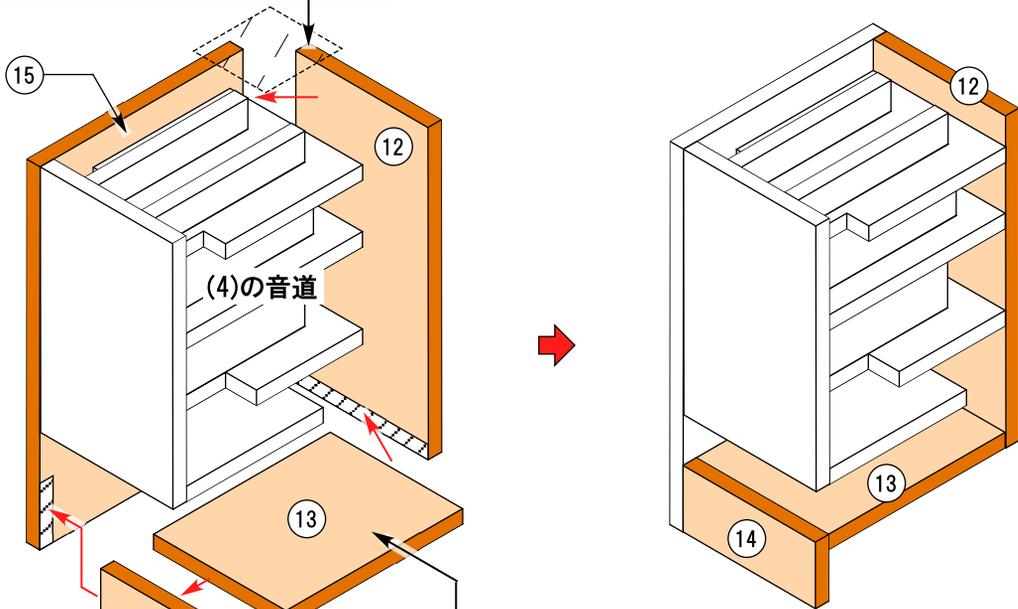
(7) 側板に(4)で組み立てた音道を接着します

天面を合わせて
接着してください



(8) 背板(12)、中板(13)、前板(14)を接着します

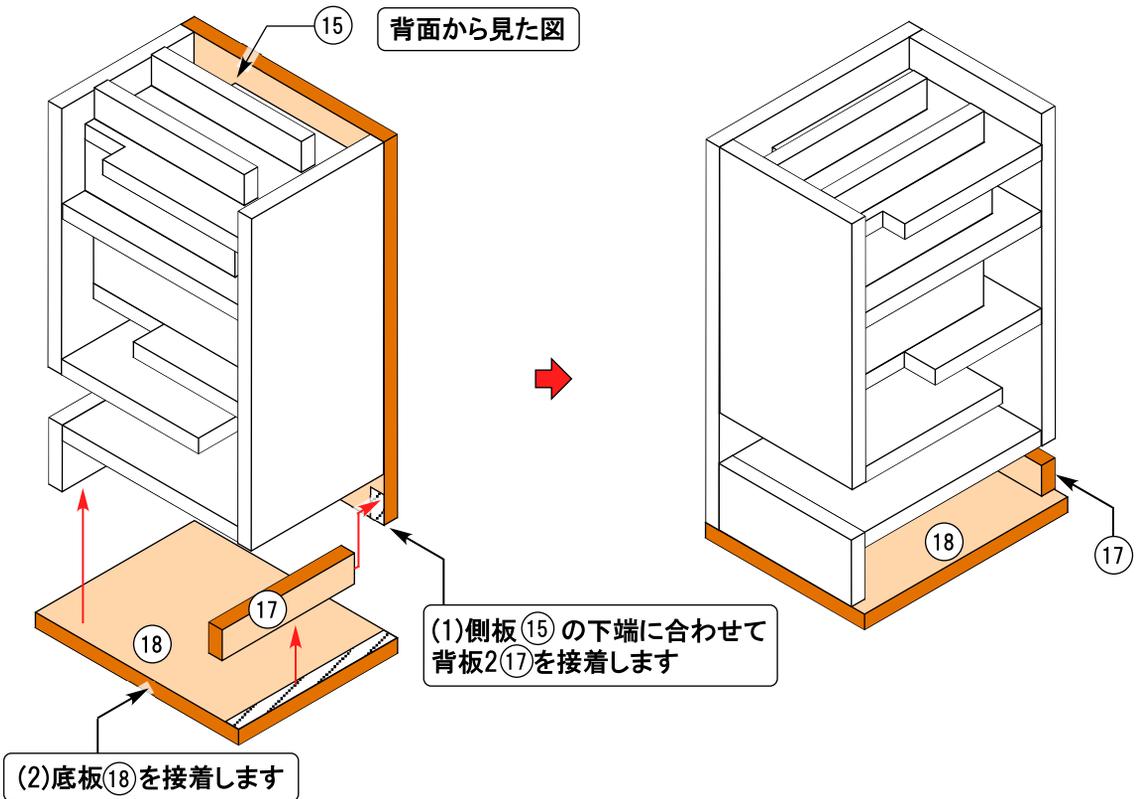
(1) 背板(12)を側板(15)、(4)の音道に
天面を合わせて接着します



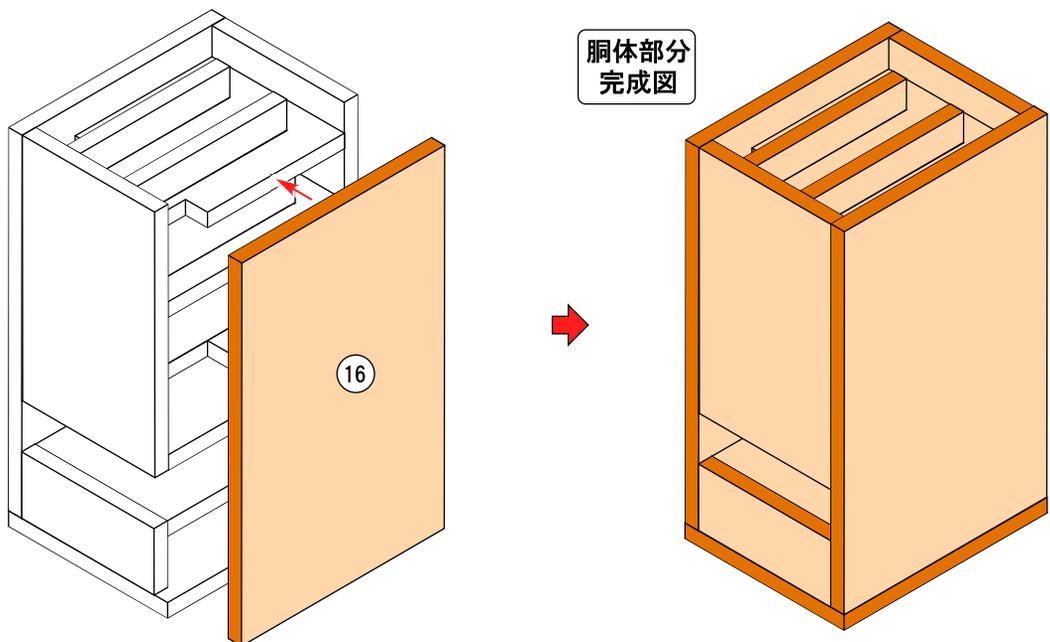
(2) 前板(14)を側板(15)に
底面と前面を合わせて
接着します

(3) 前板(14)と背板(15)を
つなぐように中板(13)を
接着します

(9)底板部品を接着します

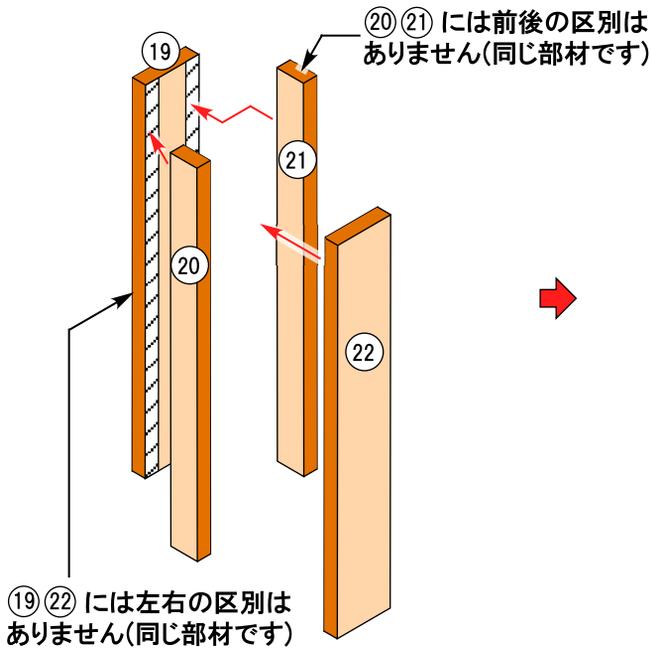


(10) 側板⑯を接着して胴体部分を完成させます

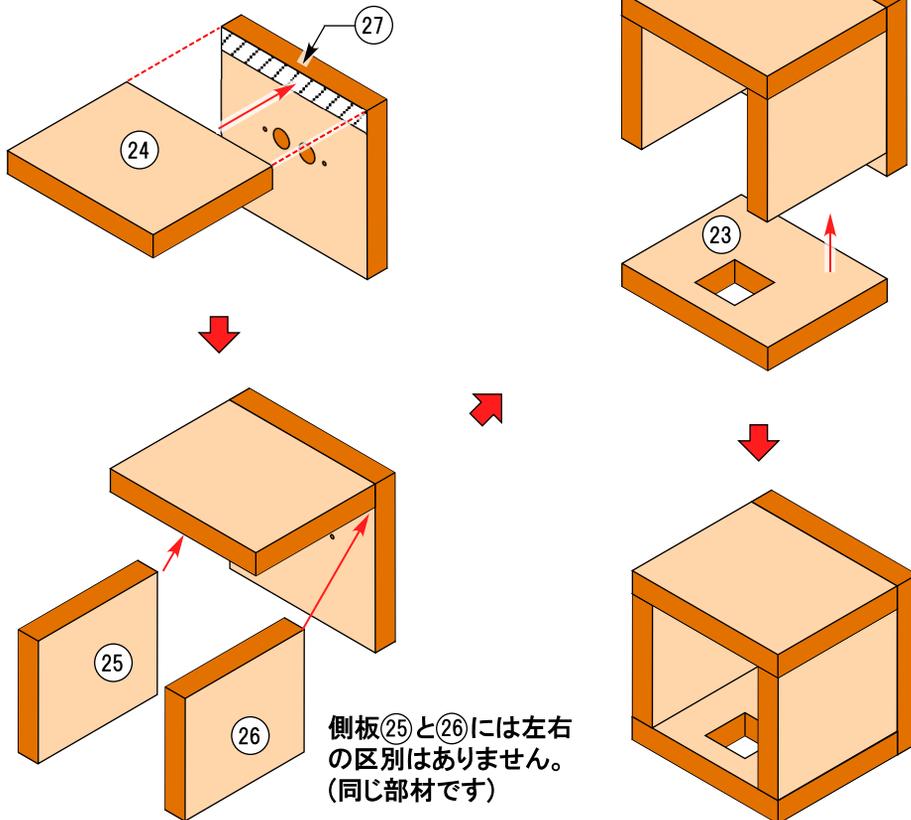


2. 首と頭の部分の組み立て

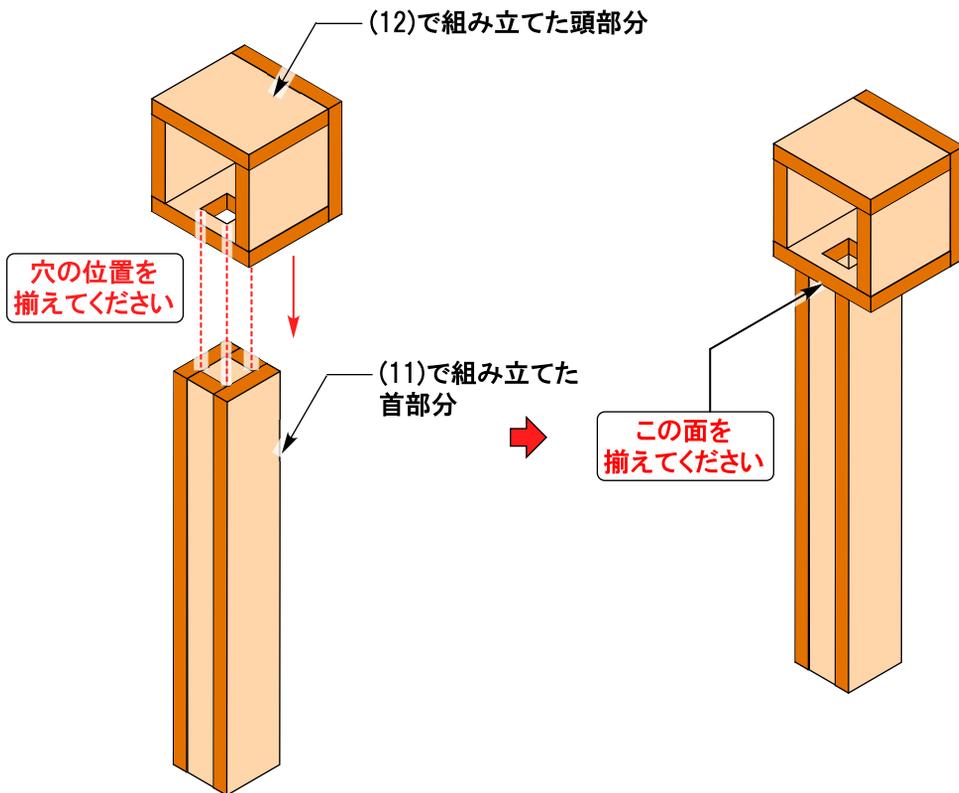
(11) 首の部分の音道を組み立てます



(12) 頭の部分を組み立てます

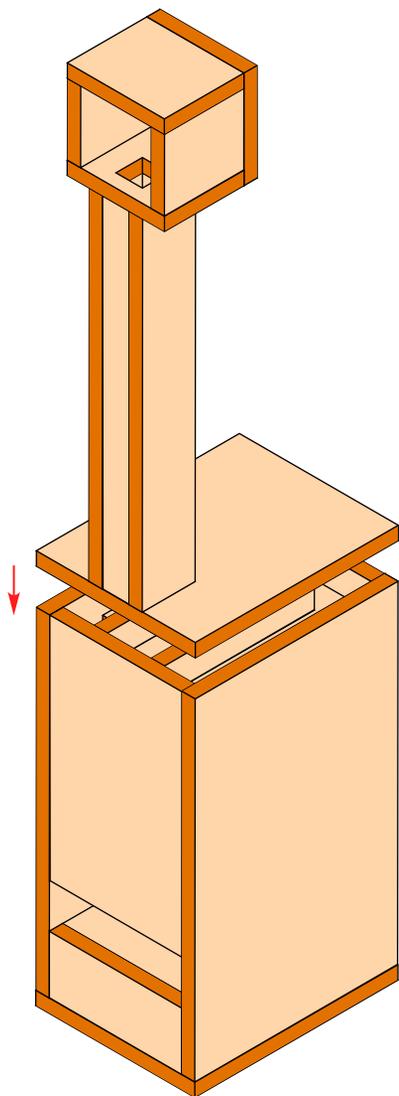
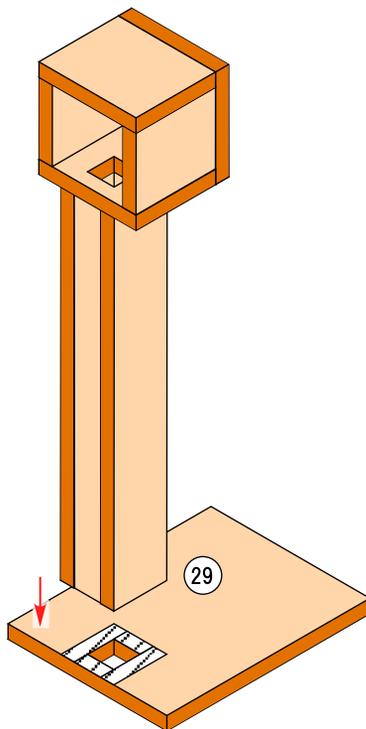
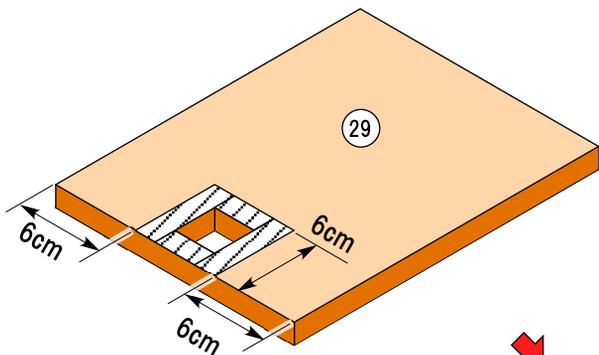


(13) (11)で組み立てた首の部分と(12)で組み立てた頭の部分を接着します



(14) 首と胴体を結合します

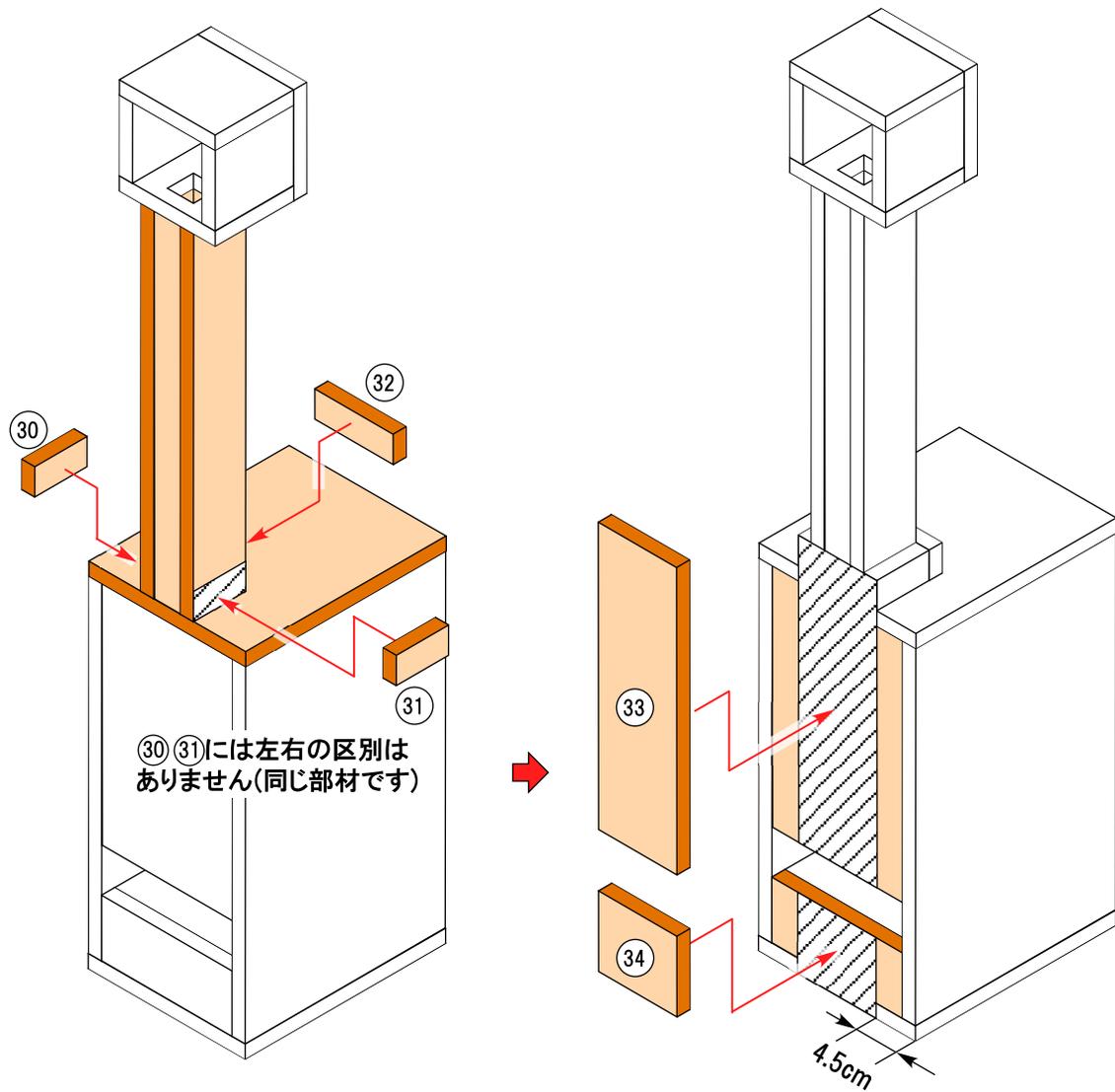
◎天板⑳の下面ハッチング部分に首を接着します。
位置の目安として、下面の位置に印をつけておきます。



◎組み立てた胴体部分に天板を接着します。

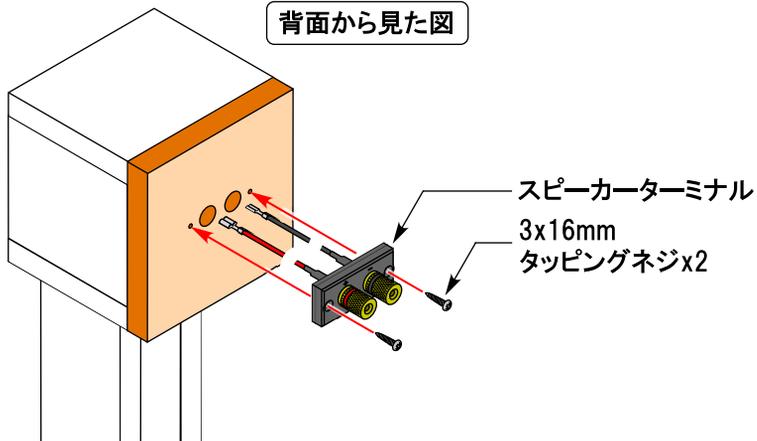
3. 補強板の取り付けと仕上げ

(15) 補強板を接着します

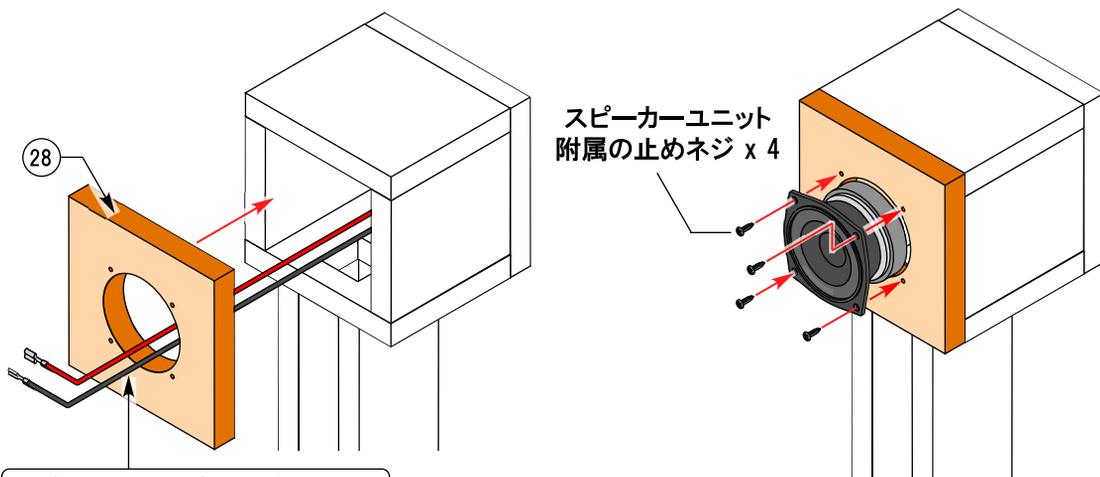


(16) 付属のスピーカーターミナルを取り付けます

背面から見た図

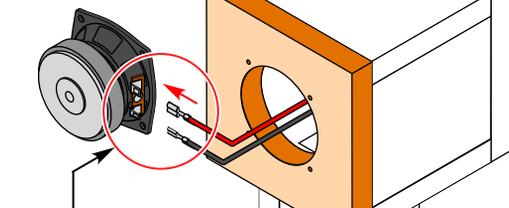


(17) スピーカーバッフルを接着し、スピーカーユニットを取り付けます

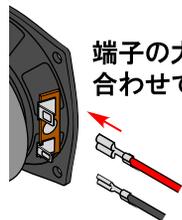


28
スピーカークーブルをバッフルの中央の穴から出します

スピーカーユニット
OMP-600



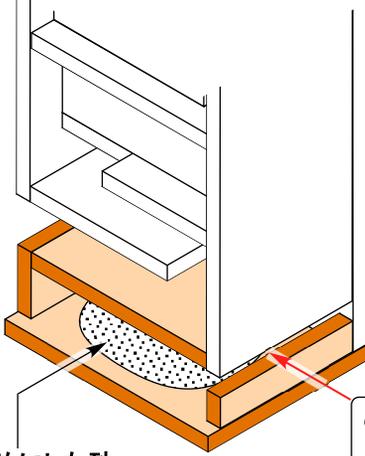
端子の大きさを
合わせて差し込みます



(18) 後ろ開口部から、袋に詰めた砂を入れます

後ろから見た図

※中身を見せるため、側板を外した状態で描いてあります。



袋詰めにした砂
(約600ml程度)
※分量はお好みで
加減してください。

ここから袋詰めにした砂を入れます。

◎ 胴体部分背面の開口部から、砂を袋に詰めたものを入れます。板の鳴きを抑え音の品位を上げるのに有効です。

◎ 砂の分量はお好みで加減してください。

※KOSAGI設計者の炭山アキラ氏によると、600ml程度入れると音質がパワフルになり実体感が大幅にアップし、砂の分量で音の締りと低域の音質が変化することです。

重要

砂は必ずよく乾燥したのを使用し、袋は二重にしてください。

完成図

